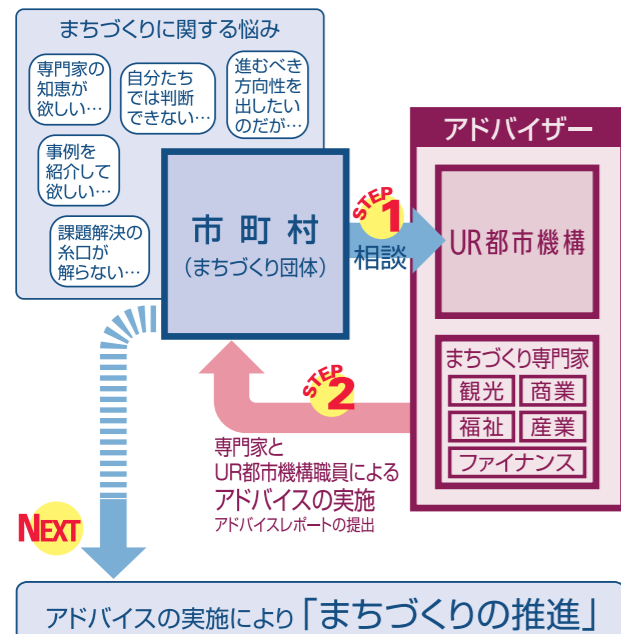


UR都市機構の『都市再生アドバイザー制度』について

制度利用の流れ



まちづくりで困っていることはありませんか？

- 中心市街地に賑わいを戻したい…
- 地域の歴史や文化を活かしたい…
- お年寄りに優しいまちづくりを進めたい…
- まちづくりを進めたいが資金が足りない…
- まちづくりの進め方が分からない…
- 民間活力の誘導の仕方がわからない…

そんな悩みにアドバイス!!

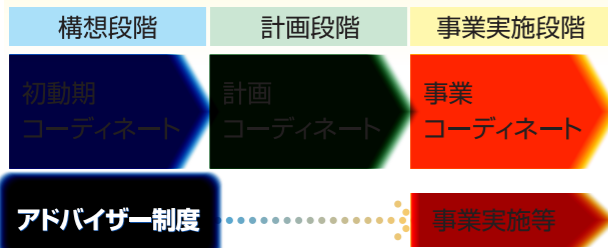
アドバイスの内容

まちづくりに係る次の項目などについて、アドバイスを実施し、アドバイスレポートをとりまとめます。例えば、以下に関する事例紹介や具体的な方策の提案をいたします。



- 美しい街並みの創出や良好な景観の保全
- 観光資源を活用したまちづくり
- 医療や福祉を取り入れたまちづくり
- 地域活性化のための資金調達
- 国庫補助金などの支援制度
- まちづくりの事業手法
- 事業の進め方
- 民間需要動向
- 中心市街地の商業活性化
- その他まちづくりに関する事項

アドバイス実施後は、引き続きUR都市機構でコーディネートすることもできます。



ご利用に当たっての注意事項

- 制度の適用対象：原則として、まちづくりに際して課題解決を試みている「地域社会の中心となる都市」である市町村及び当該市町村で活動を行うまちづくり団体*
- 費用：1回あたり5万円+交通費・宿泊費（なお、年間数地区をモデル地区として無料で実施しています。）
- ご相談の内容によっては、アドバイザーの支援をお断りすることがあります。 ※まちづくり団体:TMO、商工会議所、まちづくり会社、NPO等を指します。

制度に関するお問い合わせ先

本社 業務企画部 全国まちづくり室 まちづくりチーム 〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー TEL:045-650-0875

アドバイザーの登録状況(平成21年度)

UR都市機構 職員	
専門家(36名) 主な専門分野(重複あり)	
まちづくり戦略・構想策定(11名)	商業環境整備(10名)
観光・まち起こし(14名)	医療介護・福祉・子育て(5名)
目玉施設立地(5名)	産業立地(3名)
商業立地(6名)	ファイナンス(2名)



アドバイザーとの意見交換の様子

UR都市機構は、全国の市町村において、まちづくりのコーディネーターに取り組んでいます。市町村が魅力あるまちづくりを進めるためには、様々な課題を解決していかなければなりません。本制度は、それらの課題に対して、豊富な知識・経験を持った専門家とUR都市機構の職員が、まちづくりのアドバイスをさせていただきます。

千葉県香取市の事例

【依頼内容】

中心市街地の活性化や交流人口の増加を図るために、JR佐原駅周辺の土地利用計画、特に駅前的大型店舗地の活用方策についてアドバイスをほしい。

【派遣アドバイザー】
商業環境整備の専門家 1名

【地域の課題】

『重要伝統的建造物群保存地区』に選定されている古いまちなみ、佐原の大祭、香取神宮などの豊富な地域資源を有し、多くの観光客が訪れて



JR佐原駅周辺

いるが、中心市街地であるJR佐原駅周辺では、大型店舗の閉鎖、空き店舗、空き地の増加、住民の高齢化などにより、空洞化と賑わいの低下が進行している。

【主なアドバイスの内容】
大型店舗跡地活用の検討の進め方やポイントをアドバイス・提案。

【結果】
庁内に設置した検討委員会において、本アドバイスを踏まえ大規模店舗跡地活用の検討を行っている。



美しい小江戸の風景を一目見ようと観光客が訪れる



重要伝統的建造物群保存地区に選定された「北総の小江戸」ともいわれる佐原のまちなみ（小野川沿い）



歴史的建造物が多く建ち並んでいる